

振興ちば

第32号

令和5年
9月



市川市 葛飾八幡宮「千本公孫樹」

自然も都心も近い 市川市

目次

表紙のまち 市川市	1-2
まちのイチオン	
木更津市 茂原市	3
成田市 市原市	4
流山市 我孫子市	5
四街道市 匝瑳市	6
いすみ市 一宮町	7
長柄町 御宿町	8
千葉県からの情報	
「千葉県飲酒運転の根絶を実現するための 条例」が6月28日に改正されました	9-10
千葉県からの情報	
新たなご当地グルメ 「黒アヒージョ」について	11-12
専門家が読み解く自治体の今 数値でみる千葉県市町村の地方創生	13-18
市町村職員の紹介	19
自治落書き	20
市町村振興協会だより&編集後記	21-22



アクセス抜群！
気軽に楽しめる紅葉狩り

すぐ隣は東京都という便利な立地にありながら、豊かな自然にも恵まれている市川市。市内には晩秋に訪れたい紅葉の名所がたくさんあります。
長田谷津と呼ばれる細長い谷間にある自然公園「大町公園」は、市川市動物園や植物園、自然観察園などを擁する緑豊かな空間。紅葉の時期だけ開放される「もみじ山」をはじめ、もみじ谷、せせらぎ園など紅葉ポイントがいくつもあります。

また、市内に点在する古刹の数々も、紅葉に彩られる季節はいつそう趣のある行まいが楽しめます。天然記念物「千本公孫樹」がある葛飾八幡宮、中山法華経寺、真間山弘法寺、正中山法宣院、回向院別院、下総国分寺と日枝神社、寶珠院、愛宕神社などと鮮やかな景色が参拝客を魅了します。
他にも、桜やツツジも美しい「しゅんさい池緑地」、バラと桜で有名な「里見公園」起伏のある広大な森「国府台緑地」では、変化に富んだ紅葉散策がたっぷり楽しめます。
混雑を避けて満喫できる市川の紅葉狩りは、色づく木々をじっくりゆつくり愛でたいという人におすすめです。

大町公園もみじ山 「もみじ鑑賞会」

11月中旬～12月上旬
料金 / 無料
時間 / 9:00～17:00

普段は閉山していますが、年に1度、モミジの色づく頃は毎日入ることができます。

せせらぎ園：大町公園バラ園南の池から東に伸びる水路沿いの散策路で、見頃の時期には見事な紅葉のトンネルができあがります。

貴重な自然の宝庫 大町公園 自然観察園

大町公園は湿地と斜面林で構成された谷津の自然がそのまま残されています。豊富に出る湧き水によって湿地が形成され、長田谷津では約400種の植物、湿地には100種程度の植物が生育しているほか、昆虫・野鳥など観察できる生物は多彩です。



市川市動植物園（有料） 紅葉とレッサーパンダのコラボ

レッサーパンダ1号舎の園庭に植えられたモミジの中を、レッサーパンダたちが散歩したり、枝の上で寝そべったりと、愛らしい姿を見せてくれます。

画像提供：市川市

★お出かけ前にホームページなどで最新の情報をご確認ください



葛飾八幡宮のイチヨウ

地元の人々から「はちまんさま」と呼ばれる由緒ある神社。境内には国の天然記念物に指定されている御神木千本公孫樹(せんぼんいちょう)があります。参道のイチヨウ並木も素晴らしく、落葉が始まるとあたり一面が黄色いじゅうたんに覆われた美しい景観が楽しめます。

木更津市

100周年に向けた
魅力あるまちづくり

木更津市は、東京湾アクアラインの沿岸地に位置し、東京をはじめとする主要都市と1時間圏内で結ばれ、高いアクセス性を有している一方で、東京湾最大の自然干潟「盤州干潟」や美しい自然景観が広がる上総丘陵など、豊かな自然環境に恵まれたまちです。

近年は、「都心に一番近い田舎」という本市の強みを生かした施策の効果もあり、二拠点移住やテレワーク移住などが進むとともに、「新しい生活様式」への取組とも相まって、定住人口の増加だけではなく交流人口の増加も見込まれています。また更に、民間事業者による取組として、公共施設の再利用も進められているところです。

昨年7月には、中学校跡地を活用した宿泊型総合スポーツ施設「木更津スポーツヴィレッジ」がオープンしました。この施設は、市内外の団体が合宿を行うための宿泊施設やバーベキュー場の整備を行うとともに、市民からの要望が多かった体育館の時間帯も可能とするなど、スポーツを通じ

た交流拠点として活用されています。

また、昨年12月には、緑豊かな環境にあった小学校跡地が、グランピング施設「エトワ木更津」として生まれ変わりました。この施設は観光拠点として活用されるとともに、地元企業によるカフェの出店や地元産食品の販売など、地元雇用や地産地消の促進にも寄与しており、地域活性化に資する施設となっています。

いずれの施設も高速道路からのアクセスに優れ、本市を訪れる動機づけになるとともに、周辺地域の大型商業施設やレジャー施設などへの回遊性向上にも一役かかっており、本市の魅力向上や交流人口の増加にもつながることが期待されています。

今後も市制施行100周年に向けた魅力あるまちづくりの交流の輪を広げ、人と自然が調和した持続可能なまちづくりを進めてまいります。



成田市

生涯を完結できる
空の港まちを目指して

成田市は「住んでよし働いてよし訪れてよしの生涯を完結できる空の港まちなりた」を未来都市像に掲げ、未来を見据えた施策に積極的に取り組んでいます。

まず、衛生管理の整った加工施設や農水産物の効率的な輸出を可能とする日本初の「ワンストップ輸出拠点機能」を備えた新生成田市場が、昨年1月、成田空港隣接地に開場しました。成田空港や東関東、圏央道などの充実した広域交通ネットワークを最大限に活用した卸売市場の輸出拠点化という取組は、国内外から注目されており、全国的に市場の取扱高が減少傾向にある中にあっても、取扱高、輸出金額ともに増加傾向にあります。今後も輸出拡大を通じて、日本の農水産業の発展に貢献していきます。



■新生成田市場

また、国家

戦略特区の規制緩和により新設された国際医療福祉大学医学部の附属病院は、開院から3年が経過し、感染症対策に尽力しながら、一日千人以上の患者を受け入れるなど、本市の医療体制において欠かせない存在となっています。本年3月には、医学部から初の卒業生が輩出されており、地域医療への更なる貢献が期待されるそうです。



■国際医療福祉大学成田病院

そして、滑走路増設を柱とした成田空港の更なる機能強化も着実に進行していることから、人口増加と産業集積を見据えた新たなまちづくりに取り組んでいます。

令和6年3月31日には、市制施行70周年という大きな節目を迎えます。今後も、「成田らしさ」を発揮した魅力ある施策を展開し、多くの人が行き交う活気あふれるまちづくりに取り組んでいきます。

茂原市

持続可能な
まちづくりを目指して

千葉県ほぼ中央に位置する茂原市は、昭和27年の市制施行後、豊富な埋蔵量を誇る天然ガスを利用する企業の相次ぐ進出により、急速な工業化が進み、長生・山武・夷隅地域の核的な都市として発展し、今日に至っています。

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）のインターチェンジも複数あり、これを利用することで、首都圏各地域や成田・羽田両空港まで1時間圏内と交通の利便性に優れています。

現在、エネルギー価格の高騰により、安価な天然ガスがあることで注目されるようになった本市では、やはり「七夕まつり」が欠かせません。関東屈指と言われるこの「茂原七夕まつり」は、毎年7月下旬に市内商店街を中心に開催されます。今年4年ぶりの開催となりましたが、例年と変わらず、まちは、色とりどりの鮮やかな七夕飾りで埋め尽くされ、さらに、もばら阿波おどり、YOSAKOI



「夏の間をはじめ、市民参加による様々なイベントが実施され、多くの人出で賑わい大盛況となりました。

また、ロケツーリズムを活用したシタイプロモーションに力を入れており、ロケ誘致や撮影支援を官民一体で行う「千葉もばらロケーションサービス」を設立し、これまで220件を超える映画やドラマの撮影支援をしてきました。献身的な活動と多くの実績により、ロケ地としての知名度が急上昇し、現在では「ロケで話題のまち」として注目を集めています。

本市では、2030年を目指すべく将来都市像を「未来へつながる『交流拠点都市』もばら」とし、この実現に向けた様々な施策を推進しています。全国的に人口減少は一段と深刻化していますが、長い歴史のある「茂原七夕まつり」に加え、新たな観光資源である「ロケ地」を最大限活用し、更なる交流人口、関係人口の拡大に努め、茂原の強みを生かした持続可能なまちづくりを進めていきます。

市原市

「これまでのいちほら」と
「これからのいちほら」をつなぐ

市原市は、房総半島の中央に位置し、北部の東京湾沿いには国内最大級の石油化学コンビナート群が立地しています。内陸部には大規模な住宅団地が点在し、中部から南部には里山や田園風景が広がる、多様性に富んだ県内最大の市域を有するまちです。

国内有数の工業地帯を擁する本市は、県内初の「SDGs 未来都市」として、2050年カーボンニュートラルの実現と地域経済の持続的発展の両立に、企業・市民・行政が体となり挑戦しています。

歴史をつなぐ、人をつなぐ

令和4年11月には、市内で見発見された旧石器時代から近現代にわたる貴重な文化財を間近で見ることができ市原歴史博物館を開館しました。隣接する歴史体験館では発掘作業の疑似体験や勾玉づくりなどが



体験できるほか、市全域をミュージアムと位置付け、市内の歴史遺産を巡ることができ取り組みを市民との協働で進めています。

また、国内最多の33か所のゴルフ場数を誇るゴルフのまちでもあり、ジュニアゴルファーを対象とした大会の運営など、ゴルフの聖地を目指して取り組んでいます。

魅力を次世代につなぐ

本市は、令和5年5月1日、市制施行60周年を迎えました。9月末には「第10回上総いちほら国府祭り」、10月からは、内房総5市で開催する「百年後芸術祭内房総アートフェス」、1月には、100人以上の有識者が集う学びのイベント「エンジン01 in 市原」などの記念事業を開催し、本市の魅力をより多くの方に届け、次世代へつないでいきます。



流山市

「住み続ける価値」を高める市政に全力

流山市は、緑豊かな住環境や快適な都市整備を進めています。それに加え、医療・教育・福祉に力を入れ、障害のある方や生きづらさを抱えている方にも「住み続ける価値の高いまち」を目指し、市政を展開しています。

子どもをみんなで育むまち

本市では年間2千人以上の子どもが新たに出生しており、合計特殊出生率も令和3年時点において1.56と県内の市では最も高い状況です。

このような状況下において、本市の小・中学校の整備については、令和6年4月に南流山第二小学校、市野谷小学校の開校と南流山中学校の移転開校を計画通り進めています。



市野谷小学校完成イメージ

流山本町地域の活性化



流山本町の町並み

本市のリズムにおける大きな柱のひとつが、流山本町地域です。古民家再生プロジェクトでは、令和4年度に3店舗が新規オープン、1店舗が移転リニューアルしました。今後も新たな店舗の開店など、流山本町のさらなる活性化を進めていきます。

さらに、流山発祥の特産品「白みりん」をテーマにした新しい施設として、令和6年度の開館に向け「白みりんミュージアム」の整備を進めています。



白みりんミュージアム

我孫子市

人と鳥が共存する魅力ある環境を目指して

かつて水鳥の楽園と謳われ、現在も年間を通して百種類以上の鳥が見られる手賀沼。その湖畔に位置する我孫子市では、毎年11月第1土・日曜日に、国内最大級の鳥の祭典である「ジャパンバードフェスティバル（以下、JBF）」が開催され、今年で23回目を迎えます。

JBFは「人と鳥の共存を目指して」をテーマに、芸術・文化・科学・教育等様々な視点から、楽しみながら鳥や自然環境について触れられるイベントです。

昭和49年度から平成12年度までの27年間、水質汚濁湖沼日本一であった手賀沼ですが、明治初期には、トキやコウノトリをはじめ多くの水鳥が生息していました。我孫子市では、鳥類への関心を通じて環境保全の意識を高めようと、昭和59年に民間で唯一の鳥類研究機関「財団法人山階鳥類研究所」を誘致し、さらに平成2年には、日本で最初の鳥類専門の博物館「我孫子市鳥の博物館」を開館しました。

平成10年、日本バードカービング協会からの申し出により、JBFの礎となる「全日本バードカービングウエスティバル'98」が市内で開催され、我孫子野鳥を守る会をはじめ、地元関係団体もその開催に協力しました。

催に協力しました。

平成13年からは名称をJBFに改め、バードウォッチング、行政・NPOなどによる研究活動の展示、小中高生の研究発表の場である「環境学会」の実施や海外団体との交流等が続いています。平成22年から実施している「全日本鳥フォトコンテスト」にも800点を超す作品が寄せられ、今では、全国からも多くの方々が足を運ぶ、日本最大級の鳥をテーマにしたイベントに発展してまいりました。

都心から電車ですら40分、数多くの文人たちが愛した水辺の風景を、そしてそこに広がる豊かな生態系を身近に見ることのできる我孫子。鳥の住みやすい環境は人間にとっても魅力ある住環境です。今年も多くの方にJBFにご来場いただき、鳥だけでなく手賀沼や我孫子の魅力に触れていただければ幸いです。

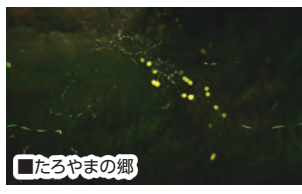


四街道市

暮らしやすく、子育てしやすい魅力あふれる街

四街道市は県都千葉市に隣接し、都心へ40kmの圏内にあり、広域幹線道路の国道51号線、東関東自動車道が縦断する自然と住環境が調和した街です。

都心からのアクセスは東京駅から電車ですら約50分と良好で、成田空港や東京ディズニーリゾートからも近く、通勤やレジャーに便利です。また、蛸が住む里山など緑豊かな自然があふれ、住心地の良さも兼ね備えています。



たろやまの郷

子育て支援については、これまで中学生までを対象としていた子ども医療費助成制度を令和5年8月診療分から高校生等まで拡充しました。中学生は無料。高校生等も非課税世帯は無料、課税世帯は300円まで受診することができます。他にも、中学3年生を対象に英検受験料1回無料、小学1年生からの英語の授業実施、小中一貫教育の推進など、子育て家庭を応援しています。

4月から新たに設置した「企業立地 農商工連携推進室」では、企業の立地を促進することにより、市内の産業振興、市民の雇用創出を図るため、立地企業とその協力者に対して資金面での助成制度「四街道市企業立地促進事業補助金」を4月に施行しました。この助成制度を運用しながら地元企業の事業活動の支援、市外からの企業立地の推進をしています。



子育ての街を選ぶ

シテイセールスについては、子育て世代を中心とした若い世代の転入促進と定住人口の維持を図るため、本市の多様な魅力を分かりやすく伝えるPRパンフレットを7月に発行。また、今年度も引き続き、東関東自動車道の陸橋を活用したPR横断幕を、キャッチコピーの公募を行い、8月から掲出しています。他にも、四街道市PR大使との連携や、フィルムコミッションの推進など、認知度向上に取り組んでいます。

匝瑳市

自然と歴史・文化が調和した魅力あるまち

匝瑳市は、みどり豊かな恵まれた自然と歴史のあるまちです。市の北部は、谷津田が入り組んだ複雑な地形の台地で、里山の自然が多く残されています。南部は、平坦地で、市街地を除いてほとんどが田園地帯となっており、白砂青松の続く九十九里浜に面しています。

歴史感じる飯高檀林跡

日蓮宗最古・最大・最高の学問所であった飯高檀林跡（飯高寺）。6万7千㎡を誇る敷地内にある講堂・総門・鐘楼・鼓楼は、国の重要文化財に指定されています。うっそうとした杉林が訪れた人に重厚な印象を与え、往時の雰囲気を感じ取ることができます。



飯高檀林コンサート

春と秋には講堂を舞台にコンサートが開催され、訪れた人々を魅了。テレビドラマや映画のロケ地としてもたびたび使用されます。令和5年度の飯高檀林コンサート

は千葉県誕生150周年事業として次の通り開催されます。
日時：10月8日（日） 13時～15時 30分
場所：飯高寺（匝瑳市飯高1789）
出演予定者：ヴェンデ・ヨウコ、越田太郎丸、石川智、楠井五月

まちが熱気に包まれる祇園祭

毎年8月4日・5日に行われる八重垣神社祇園祭。4日には全国でも珍しい女性だけで担ぐ女神輿渡御が、5日には20基以上の神輿が連なり一日かけて市街を練り歩く神輿連合渡御が行われます。

特に5日の連合渡御では、「あんりやあどした」の掛け声で舞う神輿と担ぎ手に沿道から水を掛けるのが特徴で、水槽にためた水を滝のように浴びせる場面が随所で見られます。この2日間、匝瑳市は層の熱気に包まれます。



八重垣神社祇園祭

いすみ市

有機(オーガニック)給食と有機農業の普及推進について

いすみ市の学校給食は、年間に使用するお米31トン全量が、市内で農業・化学肥料を使わずに生産された有機米になつています。

有機米の学校給食利用は、安全な食材を提供したいという農家の想いを発端に2015年4トンからはじまり、農業振興や食育、魅力づくりの環境で、2017年から有機野菜の利用もはじまり、8種類の野菜のおよそ12%で有機野菜を使用しています。2023年から保育所・こども園給食での有機野菜の使用もはじまっています。



のが、子どもたちの教育活動です。現在3つの小学校で5年生の総合の学習の時間に、有機米の栽培体験と環境学習、食育を一体としたプログラム「いすみ教育ファーム」を行っており、子どもたちや先生、保護者に大変好評で、給食の残菜が減るといった成果を得ています。



本市の有機給食を支えているのは、まち一体です。持続可能なまちづくりがあり、2012年に協議会を設立し、ゼロから有機農業を普及してきました。現在までに有機米の産地化に成功し、農家の所得が向上しています。

有機給食とともに力を入れているのが、子どもたちの教育活動です。現在3つの小学校で5年生の総合の学習の時間に、有機米の栽培体験と環境学習、食育を一体としたプログラム「いすみ教育ファーム」を行っており、子どもたちや先生、保護者に大変好評で、給食の残菜が減るといった成果を得ています。

有機農産物の利用に伴って給食費の値上げは行っておりません。有機給食には産業振興や食育、移住定住促進など様々な効果があり、保護者に負担増を求めるときではないとして、市の一般財源で予算化されています。なお、2022年10月から給食費は無償化しています。

長柄町

「輝く未来へ 魅力あふれるふるさと長柄町」



■新公民館「ながランホール」

「千葉県の「へそ」に位置する長柄町は、令和4年9月に月岡新町長を迎え、第5次総合計画に基づき「子どもからお年寄りまで生涯活躍の場」を創出しています。

昨年12月からは給食費の無償化に取り組み、この4月からは奨学金返還支援事業を開始するなど、子育てしやすいまちづくり、若者支援を実施しています。6月には、生涯学習の拠点である新公民館の完成記念式典を行いました。(愛称)ながランホールには、移動式観覧席を備えた講堂、開放的な図書スペースが備えられており、今後の活躍が期待されます。町の豊かな自然と地

形、魅力あるスポットを堪能できる4つのコースからなる「長柄町サイクルマップ」も完成し、サイクリストの中で注目を集めています。また、ふるさと納税返礼品には、町内のゴルフ場で使用できるゴルフ場利用券を備えており、皆さまから多くのご寄付をお寄せいただいています。スポーツ等を通じて実際に町へお越しいただくことで、町の魅力を肌で感じられることかと思えます。



住むのに心地よく、海と山の両方の自然が味わえるまち

御宿町の魅力の一つに、海の豊かさが挙げられます。御宿の近海は全国有数のイセエビの漁場となっており、県のブランド水産物に認定されています。漁の最盛期に合わせて開かれる「おんじゅく伊勢えび祭り」には、イセエビを目当てに訪れた多くの人で賑わい、遠方から毎年のように来られる方もいます。



生涯にわたり元気でいきいきと暮らせるまち

一宮町

オリンピックを踏まえて町の発展を

一宮町は、九十九里南端の太平洋に面した人口1万2千人の町です。外房地域では例外的に人口が減らない町です。サーフィンに適した長い海岸線、緑濃い里山、広々と展開する農地など、豊かな自然が人々を魅了しています。そして上総国一の宮・玉前神社と歴史の香り漂う周辺市街地や、農村地区の重厚な農家建築群、一方、海岸通りのサーフ・ストリートのウエスタンテイストの町並みと、23平方キロと小さい中に、多様な表情の区域が次々と展開すること

玉前神社での諸活動などを結びつけ、周遊性を確保する新たな観光の形を追求しています。

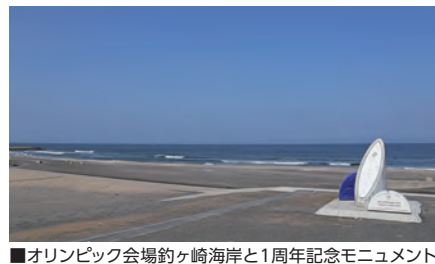
もその魅力のひとつです。さらに、これらの要素を輝かせる根本要因として、外房線が便利で、東京まで毎時1本以上の特急・快速電車があつて、1時間から1時間半で東京駅と結ばれていることがあります。

また、長期にわたって多くの方に住みたい町として選んで頂くために、子育て支援と、教育事業のハード・ソフト両面からの充実をめざしています。移住者には20代30代の若い世代の方が多いので、こうした施策は、将来の町の持続的発展に大きく寄与すると考えています。

目下の町の戦略としては、釣ヶ崎海岸でオリンピックサーフィン競技が行われたことを受けて、会場周辺に一時避難場所兼道の駅を開設し、地域経済のハブとする計画に取り組んでいます。また、年間70万人の来訪者があるというサーフィンと、農業や

7キロにも上る長い砂浜の海岸線があるので、地震時の津波は防災上最大の懸念要因です。海岸部の10m以上のコンクリート建築のカバー率は高いので、的確な避難で命を確保して頂くことを目指しています。

小さいからこそ輝く町として今後もしっかりと進んでゆく所存です。



■オリンピック会場釣ヶ崎海岸と1周年記念モニュメント

御宿町

ひと・マチ・自然が つながりつながる 「ちようどいいまち」御宿

御宿町は千葉県の南東に位置し、夏は涼しく、冬は暖かく、年間を通じて過ごしやすい気候です。5km四方のコンパクトな町には海、里山両方の魅力が詰まっております。都会ではないけれど田舎過ぎず、ゆつくりのんびり過すのに「ちようどいいまち」です。

イフセーバーから知識や技術を学びます。加えて、「ライフセイビングのまち」として様々なライフセイビング大会の誘致を行っており、大会シーズンには全国からライフセイバーたちが集まります。

生涯にわたり元気でいきいきと暮らせるまち

御宿町の魅力の一つに、海の豊かさが挙げられます。御宿の近海は全国有数のイセエビの漁場となっており、県のブランド水産物に認定されています。漁の最盛期に合わせて開かれる「おんじゅく伊勢えび祭り」には、イセエビを目当てに訪れた多くの人で賑わい、遠方から毎年のように来られる方もいます。

御宿町は高齢化率県下1位でありながらも、要介護認定率は県内で低い水準を維持しており、生涯にわたって活躍される方が多い町でもあります。

また、御宿町には、西暦1609年に御宿沖で座礁したメキシコ船の乗組員を救出したという人命救助の歴史があります。その歴史をもとにした教育プログラム「命の海洋教育」は、子どもたちに命の大切さや町の歴史について知ってもらう機会となっており、

御宿町は高齢化率県下1位でありながらも、要介護認定率は県内で低い水準を維持しており、生涯にわたって活躍される方が多い町でもあります。町では、「生涯活躍のまち」推進のため、元気な高齢者が積極的に地域活動に参加できる環境づくりに取り組んでいます。その一つとして、体操や運動を通して健康づくりに繋げる「巡回型元気いきいき教室」を行っています。教室では、介護予防サポーターとして住民ボランティアが参画しており、参加者やサポーター同士が交流しながら行われています。また、サポーター自らで考案した歌や体操を取り入れられ、参加者が楽しみながら介護予防ができるよう様々な工夫が

「千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例」が6月28日に改正されました

条例改正の背景

令和3年6月28日、八街市で、下校中の小学生が飲酒運転のトラックにはねられ5人が死傷するという、大変痛ましい事故がありました。この事故を受けて、県の責務と県民、事業者などの役割を明らかにし、飲酒運転のない、誰もが安心して暮らせる地域社会を実現するため、「千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例」が制定され、県では、飲酒運転根絶に向けた取組を進めてまいりました。

しかしながら、いまだに飲酒運転は後を絶たず、千葉県の飲酒運転に係る事故件数は全国上位を推移している状況が続いています。そこで、飲酒運転根絶に向けた取組をより推進していくため、本年6月28日に条例が改正されました。

改正の主な内容

(一)すべての事業者

従業員が通勤中に飲酒運転で検挙された場合、県から勤務先に対し、違反した事実を通知します。通知を受けた事業所は、アルコールチェックや教育、指導などを行わなければなりません。

県における飲酒運転根絶に向けた取組

(1)県民への啓発広報

県では、本条例の改正の内容について、ラジオCM、

(3)飲酒運転根絶計画の策定

飲酒運転の根絶に向けた取組を総合的に推進していくため、県や市、関係団体で構成する飲酒運転根絶連絡協議会で、飲酒運転根絶計画を策定します。県では、現在計画案の策定作業を行っており、市町村の取組についても盛り込みますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

(2)飲食店

ア 酒類を提供した利用客が飲酒運転で検挙された場合、県から飲食店に違反した事実を通知します。
イ 通知を受けた飲食店は、ポスター掲示や交通手段の確認の徹底などを行わなければなりません。
ウ 1年以内に再度通知を受けた場合で、飲酒運転防止措置が取られていない場合、県は飲酒運転防止措置に関する指示をします。
エ 指示に従わないときは、県は店名などを公表し、指示書の掲示を命令します。
オ 指示書を掲示しないときは、5万円以下の過料を徴します。

目的

県の責務と県民、事業者などの役割を明らかにし、飲酒運転のない、誰もが安心して暮らせる地域社会を実現する。

飲食店の役割など

- ポスターなどの飲酒運転根絶に関する啓発文書の掲示に努める。
- 利用客の交通手段の確認に努め、利用客が飲酒運転をする恐れがあるときは防止に努める。
- 利用客の飲酒運転を発見した場合は警察へ通報するよう努める。

- 改正(追加)**
- 酒類を提供した利用客が違反した場合
 - ▶県から飲食店に違反した事実を通知。
 - ▶飲食店は、ポスター掲示や交通手段の確認の徹底などを行わなければならない。
 - ▶1年以内に再度通知を受けた場合、県は飲酒運転防止措置に関する指示をする。
 - ▶指示に従わないときは、県は店名などを公表し、指示書の掲示を命令する。
 - ▶指示書を掲示しないときは5万円以下の過料。

その他、酒類小売業者、タクシー事業者、運転代行業者、駐車場所有者、イベント等主催者などの役割についても規定されています。詳しくは、HPをご覧ください。

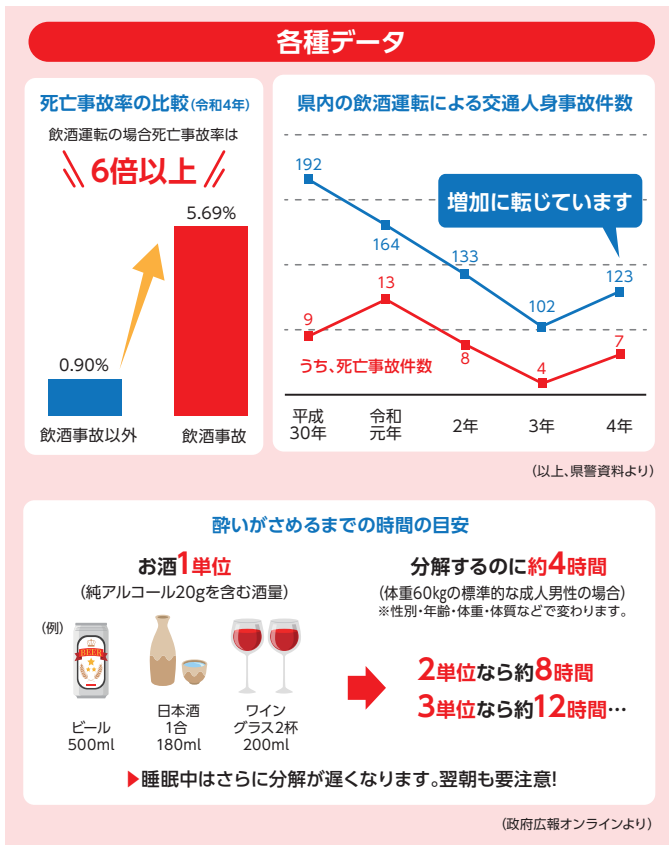


すべての事業者の役割など

- 車を運転する際の運転者の飲酒の有無の確認に努める。
- 従業員に対し飲酒運転根絶に関する教育、指導などに努める。

- 改正(追加)**
- 従業員が通勤中に違反した場合
 - ▶県から勤務先に違反した事実を通知。
 - ▶事業者は、アルコールチェックや教育、指導などを行わなければならない。

条例の概要 (ちば県民だより令和5年6月号より)



(ちば県民だより令和5年6月号より)

あなたとみんなの命を守る

ちばサイクルール

千葉県自転車安全利用ルール

自転車に乗る前のルール

- 1 自転車保険に入ろう
万が一の事故に備えて、自転車損害賠償保険等に加入しましょう。
- 2 点検整備をしよう
タイヤの空気圧やブレーキ・ライトなどの点検・整備をしましょう。
- 3 反射器材を付けよう
車体の前後だけでなく、側面にも反射器材を取り付けて、道路横断時に車から発見しやすくしましょう。
- 4 ヘルメットをかぶろう
特に、子ども(高校生以下)と高齢者(65歳以上)が自転車に乗る時は、ヘルメットを着用しましょう。
- 5 飲酒運転はやめよう
お酒を飲んだら絶対に運転しないようにしましょう。

自転車に乗るときのルール

- 1 車道の左側を走ろう
自転車は車の仲間、車道通行が原則です。車道を通行するときは道路の左側に寄って通行しましょう。
- 2 歩いている人を優先しよう
例外的に歩道を通行するときは、すぐに停止できる速度で、歩行者の通行を妨げないようにしましょう。
- 3 ながら運転はやめよう
傘差し、スマホ・携帯、ヘッドホン使用などの「ながら運転」はやめましょう。
- 4 交差点では安全確認しよう
交差点では、信号や標識に従うだけでなく、徐行や一時停止するなど、安全を確認して通行しましょう。
- 5 夕方からライトをつけよう
夕暮れ時は事故が起きやすいことから、暗くなる前に早めにライトを点灯しましょう。

※このルールは、内閣府の「自転車安全利用5則」をもとに、「千葉県自転車条例」の内容を取り入れて制定しました。

おわりに

県内の飲酒運転による交通人身事故件数は、近年減少傾向にあったものの、令和4年には増加に転じてしまいました。飲酒運転は、それ以外の交通事故と比較すると、死亡事故率が6倍以上にもなり、危険極まりないものです。県一体で、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない!」という意識を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。

(2)率先垂範の取組

公務員が飲酒運転で検挙される例も後を絶ちません。県職員による飲酒運転については、懲戒免職等厳正な処分を臨むこととしています。また、本条例では、県職員だけでなく、市町村の職員も飲酒運転の根絶に率先して取り組むものとされていますので、御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。

コラム

自転車ヘルメットについて

本年4月1日から、道路交通法の改正により、

自転車利用者の乗車用ヘルメットの着用が努力義務になりました。

自転車乗車中の交通事故で亡くなった方の約6割が頭部に致命傷を負っており、交通事故の被害の軽減のためには頭部を守ることがとても重要です。自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶりましょう。

また、自転車も車と同じ「車両」です。自転車を運転する際は、交通ルールを守り、安心・安全な運転を心がけるようお願いいたします。

ヘルメット以外にも、県では県民の皆様を守っていただきたいことを10項目にまとめ、「ちばサイクルール」を制定していますので、皆様の御理解と自転車の安全利用への積極的な心掛けをよろしくお願いいたします。

新たなご当地グルメ 「黒アヒージョ」について

千葉県農林水産部
流通販売課

千葉県では、多彩な県産農林水産物を堪能できる新たなご当地グルメとして、
醤油を隠し味に加えた「黒アヒージョ」の定着を図っています。



「黒アヒージョ」の選定

千葉県は農林水産業が盛んで、新鮮で美味しい食材がたくさんあります。そこで、若い世代に、料理を通じて千葉県の魅力を発信できないかと考え、県内の多彩な農林水産物を活用できるアヒージョに、隠し味として千葉県にゆかりのある調味料の「醤油」を加え、「黒アヒージョ」として提案していくこととしました。



令和4年度の取組内容

「黒アヒージョ」の取組の初年度は、まず「黒アヒージョ」について知っていただくため、飲食店でのコンテストやフェアなどを開催しました。

(1) コンテスト、フェアの開催

「黒アヒージョ」を食べられる飲食店を増やすため、飲食店を対象に、Instagramを活用した料理コンテストを昨年12月に開催しました。県内の飲食店38店舗からシェフのアイデア、創意工夫の40作品の応募がありました。また、県内の参加飲食店で、2月8日～3月10日まで、シェフ達が腕を振るった「黒アヒージョ」を食べられるフェアを実施し、県内の飲食店が参加しました。フェアでは、アニメ「ヤマノススメ Next Summit」とのコラボにより、県内外から多くの方が飲食店を訪れました。

このほか、InstagramなどのSNSでスキレット+チーバ君オリジナルスキレットカバーが当たるプレゼントキャンペーンを実施し、「黒アヒージョ」を多くの方にPRしました。

(2) キックオフイベントの開催

県では、「黒アヒージョ」を官民一体となって盛り上げるため、「黒アヒージョ」料理コンテストの授賞式や各分野の皆様との意見交換を行うキックオフイベントを2月7日に開催しました。

意見交換会では、農林水産



商工・観光等の各分野の第一線を担う若手の方々との意見交換を行い、「黒アヒージョ」の普及にむけて、商品開発や料理コンテストの開催方法など様々なアイデアや提案をいただき、活発な意見交換が行われました。

「黒アヒージョ」の取組2年目となる今年度は、提供飲食店の拡大や、キャンプ場等のアウトドアにおける普及に向けて、様々な取組を実施します。

令和5年度の取組内容

「黒アヒージョ」の取組2年目となる今年度は、提供飲食店の拡大や、キャンプ場等のアウトドアにおける普及に向けて、様々な取組を実施します。

(1) 千葉県誕生150周年でのPR

6月11日に松戸市内で行われた千葉県誕生150周年のオープニングイベントでは、千葉県司厨士協会にご協力いただき、千葉県産の食材を豊富に使った「黒アヒージョ」の試食の提供をし、PRを行いました。

「黒アヒージョ」を提供するキッチンカーは長蛇の列で、試食した方からは、「美味し



(2) アウトドアシーンにおける普及
手軽に調理できる「黒アヒージョ」は、アウトドアとの相性も良く、キャンプ場などでも楽しんでいただけます。そこで、今年度は県内のキャンプ場やアウトドアメーカー等と連携し、「黒アヒージョ」の体験イベントを開催します。

(3) コンテスト、フェアの開催

「黒アヒージョ」をさらに多くの皆様に楽しんでいただけるよう、昨年度に引き続き、提供施設で、「黒アヒージョ」を「食べた体験」や「ご家庭などで作った体験」をInstagramで投稿した方を対象に抽選でプレゼントが当たるハッシュタグキャンペーンを実施します。また、年明けからは飲食店・宿泊施設に向けた料理コンテスト、フェアを開催します。各地域の飲食店を訪れ、シェフ自慢のご当地「黒アヒージョ」を召し上がってみてください。

(4) 企業・団体等との連携

「黒アヒージョ」アンバサダー制度を設立し、協力企業・団体等の方々による「黒アヒージョ」の普及・促進に関する自主的な取組の後押しや機運の醸成を行うこととしました。今後とも、民間企業や関係団体の方々と連携した取組を行い、官民一体となって、多

彩な県産農林水産物を堪能できる「黒アヒージョ」の普及・促進を図ってまいります。

(5) 情報発信

「黒アヒージョ」の取扱店舗やイベント情報、県産食材を活用したレシピのご紹介など、「黒アヒージョ」に関する情報発信を「黒アヒージョ」特設サイトやSNSで行っています。

ぜひ皆さんも、「黒アヒージョ」を楽しんでみてください。



黒アヒージョ
Kuro Ajillo



数値でみる 千葉県市町村の地方創生

株式会社ちばぎん総合研究所

調査部 上席研究員 弓野 武郎 きゅうの たけお

はじめに

「地方創生」という国の方針の下で、県内の各自治体ではさまざまな地方創生の取組が推進されています。しかし個々の市町村別に見ると、人口が増加して経済が活性化している自治体がある一方で、過疎化に歯止めがかからずに地域経済が減退を続けている先もみられます。

そうした県内自治体の現在の姿を明らかにするために、当社では昨年、95項目にわたる県内市町村のデータを収集し、各自治体の状況を数値化・偏差値化するという取組を行いました。

「地方創生」という国の方針の下で、県内の各自治体ではさまざまな地方創生の取組が推進されています。しかし個々の市町村別に見ると、人口が増加して経済が活性化している自治体がある一方で、過疎化に歯止めがかからずに地域経済が減退を続けている先もみられます。

また、この作業は7年前にも実施しており、この間の改善度についても分析しています。

なお、個別自治体別の分析だけでなく、県内における全体的な傾向を把握するために、県内を5つのブロックに分け、ブロックごとの比較も実施しています（本稿ではブロック別の比較を中心として説明しています）。

本稿では、これらの調査の結果からわかったポイントを説明するとともに、今後自治体が施策立案を行っていく上での方針（基本的な考え方）について、当社としての提言を行います。

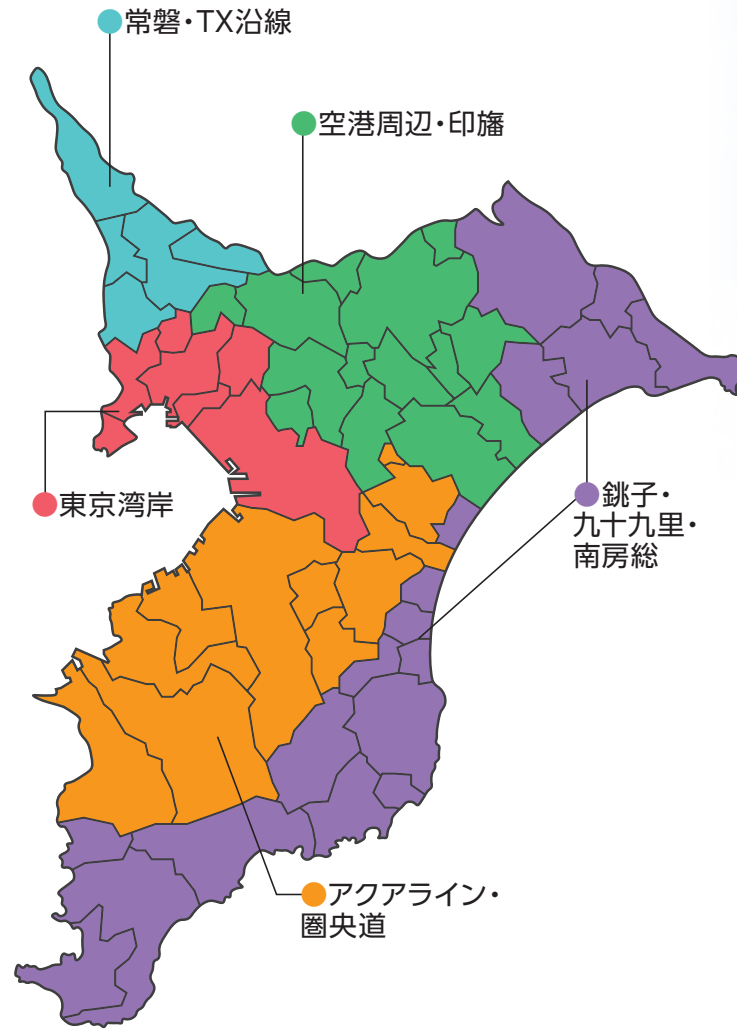
調査項目と分析の手法について

今回の調査で分析を行うにあたって、まずその根拠となる、県内全自治体の定量評価項目と定性評価項目のデータを収集しました。

「定量評価項目」は、公表されている統計データです。「合計特殊出生率」「要介護認定率」などの47項目の統計データを収集・整理して、各自治体を偏差値【相対評価】で比較しました。統計データは、まちの「実態」を表したものであり、客観的な性格を有しています。

「定性評価項目」は、県内に居住する3000人を対象としたアンケート調査の結果です（市町村別の人数は人口構成比で按分）。各自治体に居住している住民に、自ら

◇図表1 県内5ブロックの位置図



◇図表2 定量評価と定性評価の概要

	定量評価	定性評価
データ入手元	各種統計データ	県民3,000人を対象としたアンケート調査の結果
調査項目	10分野 計47項目 (合計特殊出生率、要介護認定率等)	10分野×各4問+8問 計48項目 (居住自治体は治安が良いか等)
評価方法	①偏差値 (相対評価・標準:50)	①偏差値(相対評価・標準:50) ②満足度指数(絶対評価)
評価の「性格」	○統計データ ⇒まちの実態【客観的】	○住民へのアンケート ⇒住民のイメージ【主観的】

「定量評価」と「定性評価」の平均値を「総合評価」とする

の自治体が「治安が良いか」「子育てがしやすいか」などの48の設問を提示し、そう思うか否かの回答を求めた結果を、実数【絶対評価】と偏差値【相対評価】で比較しました。アンケート結果は、住民のイメージを数値化したものであり、主観的な性格を有している

といえます。

また、定量評価と定性評価、それぞれの偏差値の平均を、「総合評価」として、ブロック間・自治体間の比較を行っています。

（※注1）本稿での分析は、上記95項目を対象として実施したのですが、各自治体にはデータで表すことができない「プラス面」「マイナス面」があり、今回の評価には、そうした要素は盛り込まれておらず、このことに留意する必要があります。

（※注2）住民アンケート調査において回収数が一定数に満たなかった12町は「定性調査」の対象外とし「定量調査」のみを実施。また「総合評価」は、「定性評価」と「定量評価」の平均を算出したものであるため、この12町は「総合評価」についても対象外とした。

調査結果のポイント

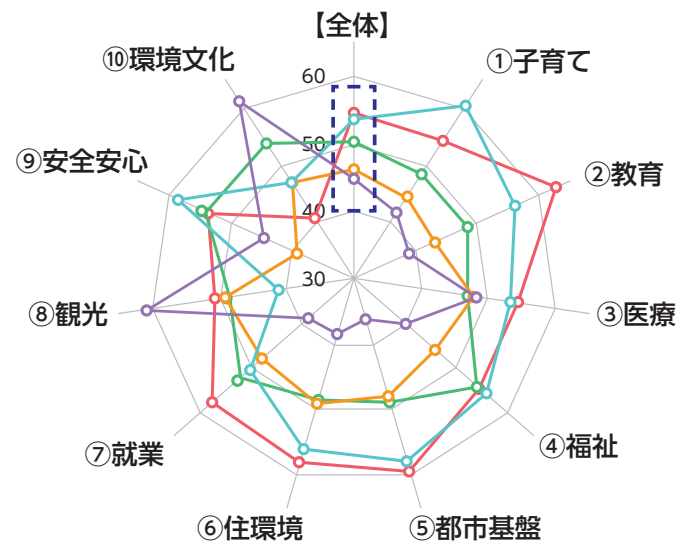
各自治体のデータの収集・分析を通して明らかになった様々なことの中で、特に重要と考えられる4つの点を、以下に提示します。

①住民の満足度（絶対評価）は、全体的に前回調査比で改善

アンケート調査では、調査結果の元データ（満足度指数Ⅱ絶対評価）から偏差値（相対

◇図表4 総合偏差値のブロック別比較

ブロック	偏差値
東京湾岸	54.6
アクアライン・圏央道	46.2
空港周辺・印旛	50.4
常磐・TX沿線	53.7
銚子・九十九里・南房総	44.9



辺・印旛ブロック(緑・50・4)がこれに続き、アクアライン・圏央道ブロック(オレンジ・46・2)、銚子・九十九里・南房総ブ

例:「治安が良いと思うか」との質問への回答結果から絶対評価・相対評価への導き方

「とてもそう思う」の回答比率	10%	×	+2	=	+20.0
「ややそう思う」の回答比率	35%	×	+1	=	+35.0
「あまりそう思わない」の回答比率	45%	×	-1	=	-45.0
「全くそう思わない」の回答比率	10%	×	-2	=	-20.0
合計(満足度指数)					-10.0

※全自治体の絶対評価を算出した後に、その中での該当自治体の水準(-10.0)を偏差値化

偏差値(例) **48.3** → 相対評価

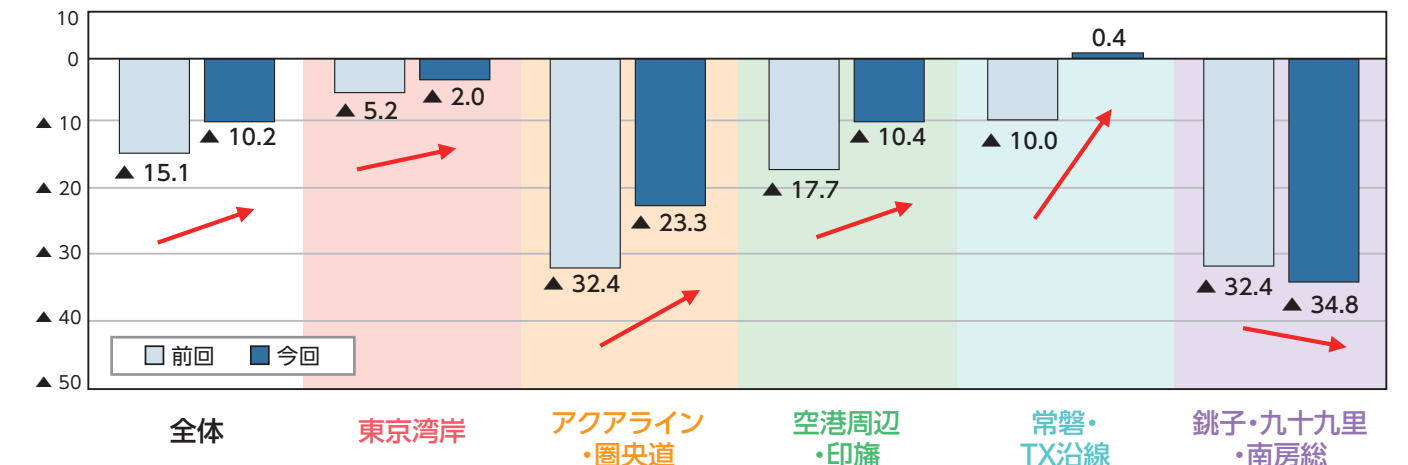
評価)を算出するという作業を行っています。「例」参照)、ここでは、7年前時点と今回の絶対評価について比較を行ってみます。

前述のように、総合評価は定性評価と定量評価の平均ですが、ブロック別に総合評価、定性評価、定量評価の各偏差値をグラフにしますと、図表5のようになります。定性と定量に着目してこの図をみると、定量(青)は各ブロックとも比較的50に近い数値であるのに対し、各ブロックの定性(赤)は、50から乖離している傾向が強いことがみとれます。

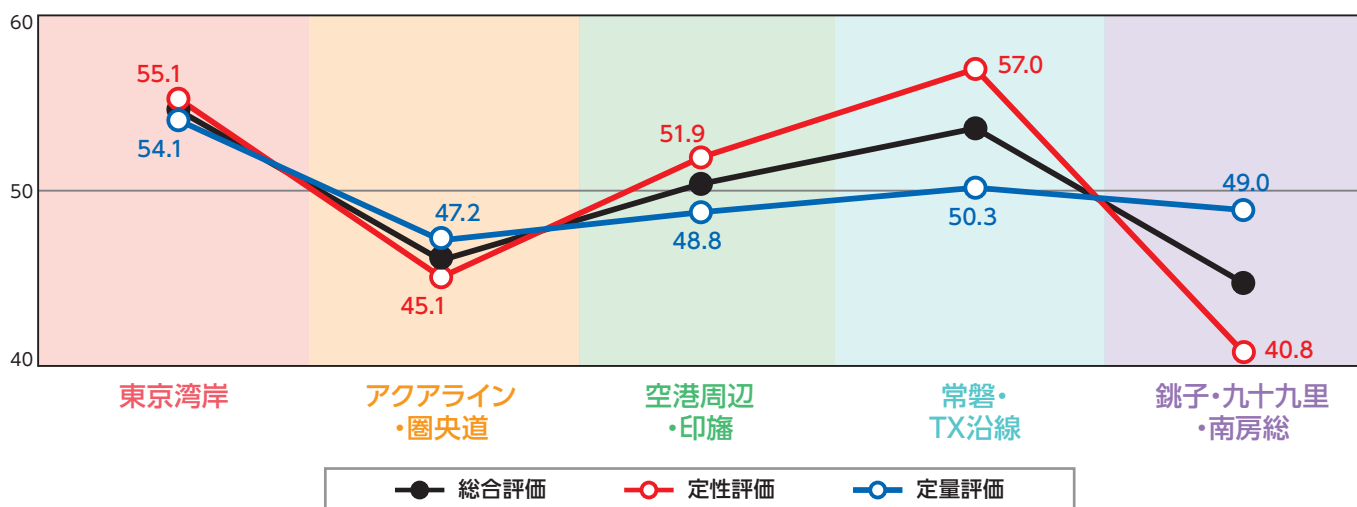
③ブロック・自治体間の差異は、統計データ(定量評価)よりアンケート結果(定性評価)の方が大きい

全体的に都市部で高く、地方部で低くなっています。特に①子育て、②教育、⑤都市基盤、⑥住環境などで差異が大きいことが目立っています。逆に⑧観光、⑩環境文化などは、その立地特性を背景として、地方部の方が高い傾向がみられます。地方部より都市部の偏差値の方が高いという結果は、前回も同様で、その差は拡大しています。特に銚子・九十九里・南房総では偏差値が悪化し、住民の満足度低下に歯止めが掛からないなど、県内での較差は前回と比較すると拡大しているといえます。

◇図表3 満足度指数(絶対評価)の前回調査と今回調査の比較



◇図表5 ブロック別 総合評価・定性評価・定量評価の偏差値



図表4は、5つのブロックの分野ごとの総合偏差値をリーダーチャートで示したものです。10の分野平均である「全体」の偏差値は東京湾岸ブロック(赤・54・6)、常磐・TXブロック(青・53・7)が高く、空港周

②偏差値(相対評価)は、前回同様に都市部で高く地方部で低い傾向

まためると、「県民の居住するまちに対する満足度は十分ではない(絶対水準はマイナス)ものの、前回比では改善している」といえます。このことから、県内各自治体の地方創生の取組には、この7年の間で一定の進捗(成果)があった、と考えます。

ただし今回調査の満足度指数の水準をみると、県全体の▲10・2をはじめ、ほとんどのブロックでマイナスとなっています。絶対評価である市民の満足度は、全体的にみて決して高いとはいえないことがわかります。

図表3のように前回(7年前)と今回の10分野全体の総合的な満足度指数を比較してみると、県全体では▲15・1から▲10・2へと、4・9ポイント改善しています。ブロック別でも、4ブロックで満足度指数は前回上昇しており、特に常磐・TX沿線ブロックで▲10・0から+0・4へ、上げ幅は10・4ポイントとなっています。一方で銚子・九十九里・南房総ブロックだけは悪化しており、県全体の中で異なる傾向にあるといえます。

きい」、すなわち、「実態（統計データ）にはさほど差異はないにもかかわらず、住民の満足度のイメージ（アンケート結果）の方がブロック間で差異が大きい」、ということがわかります。

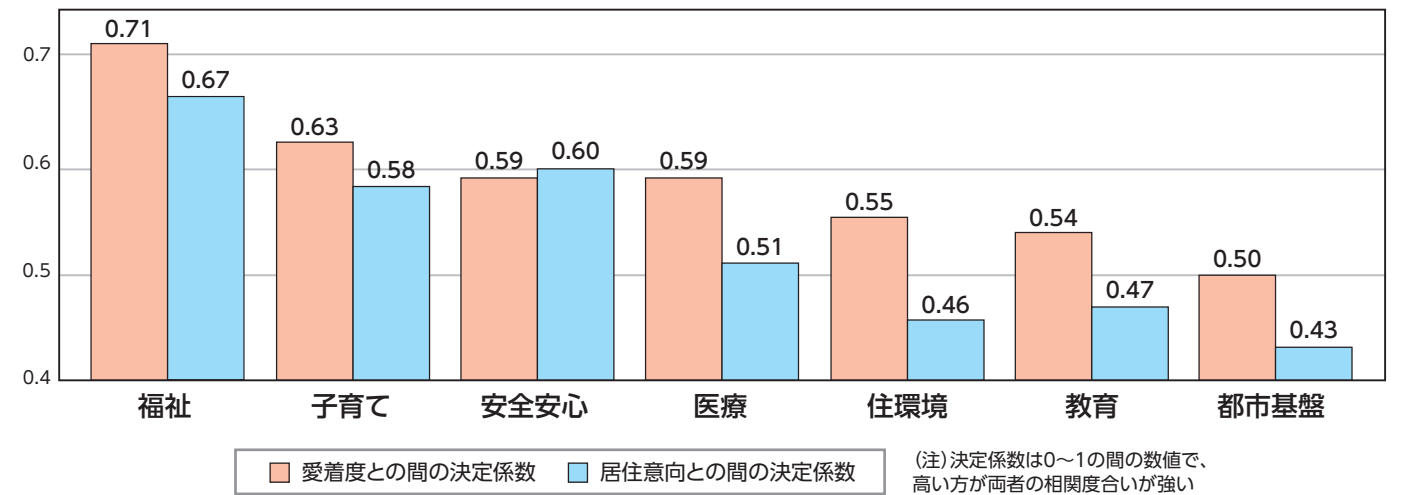
総合偏差値（黒）が50超のブロックでは定性評価の方が高く、50未満のブロックでは定性評価が低い傾向がみられます。実態が平均以上の住民は更に良いイメージを、実態が平均以下のブロックの住民はそれ以上に悪いイメージを持っている、と考えられます。

この傾向は自治体単位でも同様で、例えば総合評価が県内で最も高い浦安市では「定性65・4√定量60・3」、2位の成田市では「定性64・6√定量53・2」、3位の流山市では「定性62・8√定量54・4」と、いずれも定性評価（住民のイメージ）が定量評価（統計データによる実態）を大きく上回っています。

④居住地への愛着度等の偏差値と、分野ごとの満足度の偏差値との間の相関関係は、分野ごとに差異がある

住民向けアンケートでは、「このまちが好きか（愛着度）」「このまちに長く住み続けたいか（居住意向）」という設問も設けました。この2つは、自治体にとって特に注目度が高い項目だと考えられます。この愛着度・居住意向に、どのような要素が影響を与えているかを考察するために、「愛着度」「居住

◇図表6 「愛着度」「居住意向」と各分野の満足度との間の決定係数（相関度合い）



づくりを行っているという共通点があります。

各自自治体の取組が、住民のまちへのイメージを向上させたことは間違いなく、また、まちのイメージアップが、さまざまな面で地域の活性化に繋がることも確かだといえます。

「まちのイメージアップを図る」という意識を行政が高め、具体的な取組を実施するなど、組織として戦略を展開していく必要があります。

提言3 「将来の居住意向と相関性が高い分野の取組強化」

今回、「将来の居住意向の偏差値」と「各分野の満足度の偏差値」との相関関係を決定係数で提示しました。ある分野の満足度と居住意向の相関度が高いということは、その分野で「満足度が高いと将来も住み続けたいと感じる人の比率が高く、満足度が低いと住み続けたいと感じる人の比率が低い」ということです。

相関関係が高い分野は「福祉」、「子育て」、「安全安心」など、主に日常生活に直接に関わる分野となっています。こうした面で住民を満足させることができれば、将来の居住継続につながるはずですが、

もとより他の分野の重要性が低いわけではなく、自治体としては幅広い分野で施策を講じていく必要がありますが、今回の調査結果から、相対的にみると上記分野の取組の強化

継続意向」の偏差値と、各分野の満足度の偏差値との間の相関度合いを算出しました。その結果、「愛着度」「居住意向」に関連する決定係数（両者の相関度合いの高さを示す指標）が最も高かった分野は「福祉」で、決定係数は0・71、0・67と、相関度はかなり高くなっています。また、「子育て」「安全安心」などの分野との相関性も高いといえます。一方で「住環境」「教育」「都市基盤」などとの相関度合いは相対的に低くなっています。全体的にみると、「都市基盤」「住環境」などのハード面よりも、「福祉」「子育て」などのソフト面の方が、居住地への愛着度・居住意向との関係性がやや強い傾向があるといえるでしょう。

提言

以上の調査結果を踏まえて、今後県内自治体が、持続可能なまちづくりに向けて、施策や事業の立案を継続していくにあたって求められる方針（基本的考え方）について、提言させていただきます。

提言1 「数値で明確となった課題の認知と対応策の推進」

今回の調査では大規模なアンケート調査と定量的なデータ調査を行い、各自自治体の現状を相対的な「数値」で提示しました。

が将来の居住につながる可能性が高いということが判明しました。

人口の維持・増加という面からみると、居住意向とこうした分野との相関関係が高いという今回のデータは、自治体が経営資源を効果的に配分していくうえでの判断材料の1つになると考えられるため、ぜひ参考としていただければと思います。

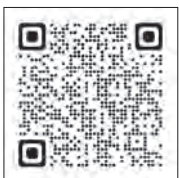
※自治体ごとの偏差値等も含む本調査レポートの詳細については、(株)ちばぎん総合研究所のホームページに掲載しております。ご興味がある方は、ご覧ください。

提言2 「住民のイメージを高めるイメージアップ戦略の展開」

本調査で、統計データ（定量評価）で示された実態よりも、満足度（定性評価）が高い自治体と低い自治体があり、その差が実態の差よりも大きいことが浮き彫りになりました。

満足度の偏差値の方が特に高い（定性√定量）自治体は成田市、流山市、旭市などで、いずれも定量調査の水準も50超の水準にありますが、定量データ以上に住民が自らの自治体に好印象を抱いているといえます。これらの自治体には他とは違う特長を有し、あるいは創り出して、それを前面に打ち出したまち

(株)ちばぎん総合研究所ホームページ
https://www.crinet.co.jp



トップページ
千葉県経済
調査研究情報

市町村職員の紹介

千葉県に派遣されている市町村職員をご紹介します。

税務課 片岡 信伍 (八街市派遣)



千葉県北部のほぼ中央に位置する八街市。市の中央部は市街地を形成し、周囲には平坦な畑作地帯が広がっています。基幹産業は落花生など野菜を中心とした農業です。近年ではラーメン祭を開催するなど盛り上がりを見せております。そんな八街市から派遣され、現在研修生として税務課にお世話になっております。

私の担当業務は、県内の市町村から引き継がれた高額滞納市税の徴収です。調査から滞納処分、捜索など様々な業務があり、市では中々でない経験を税務課では経験させていただいております。また、税務課の方々はチームワークがよく経験も豊富で、日常的に議論が行われているため、日々色々な学びがあります。研修期間もあつという間に半年が経ちました。残りの期間、まだまだ学ぶことがたくさんあるので、しっかりと吸収して市に知識と経験を持ち帰りたいと思います。また税務課の方々の仲もより深めていきたいと思っています。

市町村課 吉田 寿璃香 (鋸南町派遣)



南房総の玄関口に位置し、里山・里海に恵まれた風光明媚な町、鋸南町より派遣され、早くも半年が経過しました。

当初は慣れない環境への不安や戸惑いがありましたが、県職員の方々の温かく丁寧な御指導や他の研修生との交流もあり、とても充実した毎日を過ごさせていただいております。現在は、行政班で市町村等の公務員制度における各種調査のとりまとめや助言、情報提供業務等を行っております。市町村課での業務を通し、多角的で大きな視点から行政運営を考えるなど、町での勤務の中では気付くことのできなかつた、たくさんのごことを学ばせていただいております。この研修で得た知識や経験、業務に対する姿勢などを、鋸南町の行政課題の解決や発展のために活かせるよう、今後とも気を引き締めて、業務に励んで参りたいと考えております。

地域づくり課 植村 拓也 (勝浦市派遣)



千葉県の南東部に位置し、年間を通じて過ごしやすい気候である勝浦市から総合企画部地域づくり課に派遣され、移住や二地域居住に関すること、副業人材を活用した地域活性化や関係人口の創出に関する事業などに関わらせていただいております。

当初は不安もありましたが、県職員の方々の温かいご指導のもと充実した毎日を過ごしています。県としての視点に立って業務を行う中で多くのことを学ばせていただいております。全てにおいて貴重な経験をさせていただいていることを実感しています。限られた日々を大切に自分自身のレベルアップを図るとともに、少しでも地域づくり課の戦力となれるよう残りの時間を過ごしていきたいと思っています。この研修で得た経験と人との繋がりと財産を活かし、勝浦市に貢献できるようにしていきたいと思っています。

自治落書き

健康と日焼けと美容と

ついに来たか。昨年度の健康診断結果で現実を見せられた。

ここ数年間で体重が増え続けていたのは認識していた。その度に仕事が忙しいから仕方ない、そのうち痩せるだろう、と思い込み続け、当然全く痩せる気配もなく、ただズボンのサイズを大きくして過ごしてきた。

しかし、診断では、コレステロールと尿酸値がオーバー、そして「メタボ一歩手前ですね」と言われ、さすがに健康危機を感じてダイエットを始めた。といっても元々運動は嫌い、走るのなんて絶対嫌だ、という性格なので、どうしようかなと考えたときに、取りあえず食う物減らしてみるか食事制限を始めてみた。

特にダイエットの知識もなかったが、朝は果物、昼はサラダ、夜はおかずだけ、という感じで始めてみた。妻からは、「せっかくなご飯作ったのに食べないの？感じ悪いね。ちゃんと食べた方がいいよ」と色々と言われ、つ、1ヶ月ほど続けていると体重が段々減っていくのに気付いた。これ面白いなと少し食べる量を増やしながらも、昼はサラダだけという生活を数か月続けたところで、目標だった学生時代の体重に落ち着いた。

そして、楽しみにしていた健康診断。昨年比べて体重が8キロ減ったので、医務室の

お姉様に「体調悪いの？」と心配されたが、「ダイエットしたの？よくがんばったね」と言われた。数値も改善され、取りあえず基準値以内に収まった。久々会った人からは「痩せたねー、仕事暇なの？」とよく言われる。暇ではない、と思いつつ、痩せたと言われるのはうれしい。ダイエットしてよかった!!

実は人に会うともう1つ言われることがある。「焼けたね、遊んでるね!!」だ。実は小学生2年生の次男が昨年から近所のサッカークラブに入っているのだが、人が足りないからコーチを手伝ってくれと言われて、去年末からコーチをやることにした。コーチと言っても子どもの保護者が無償で教えているところなので全然本格的ではない。私も小学校の時にやっていただけなので、大してうまくないが、まあ小学生よりはマシだろうというところで手伝っている。とお手伝い感覚で引き受けたのだが、今年中に審判のライセンスも取ってください、そのうち指導者ライセンスも取ってもらおうかもとサラッと言われた。なんか話聞かない? まあいいけど...

サッカーだと当然屋外なので、まあ焼ける焼ける。練習が週1〜2回、月1回ぐらいで練習試合やら大会やらがあり、その間基本的に立ちっぱなしなので結構疲れる。この暑い



(ハトムギ化粧水)

中よくサッカーなんてやれるな〜と思いつつ、生意気にも指示を飛ばしている。しかし、今小学校2年生を教えているが、全然人の話を聞かない子もいる。子どもによつてサッカーに対する熱い差があるから仕方ないけど、自分こんなに話聞かなかつたかな? どうしたら話聞いてくれるかな?と保育士のような気分が日々悩んでいる。焼けたなーと思って鏡を見ると、肌が汚いなと気になってきた。もうアラフォーなので今更ながら肌の手入れをしなければいけない。今まで何もしていなかったのが、取りあえず洗顔を変え、化粧水をつけて、ついでにシャンプーもリンスインに変えてみた。化粧水は星の数ほどあって何にしようか分からなかったが、最終的には前の席の人が使っているというハトムギ化粧水に落ち着いた。しかし、ちよつと手入れをしたら肌の状態が良くなった気がする。これも面白い。世の男女が美容にハマるのも理解できる気がする。あとは加齢臭が怖いな...

加齢臭に怯えつつ、体型維持に努めようと思っているが、なんか最近お腹が出てきた気がする。まあそのうち痩せるだろう...

令和4年度サマージャンポ宝くじ市町村交付金活用事業一覧

団体名	事業名
銚子市	子ども医療費助成事業
市川市	文化会館管理運営事業
船橋市	埋蔵文化財調査整理作業委託
館山市	子ども医療費支給事業
木更津市	子ども医療費助成事業
松戸市	戸定(とじょう)歴史館管理運営事業
野田市	日常生活介護費
茂原市	子ども医療費助成事業
成田市	国際文化会館管理運営事業
佐倉市	一般廃棄物収集運搬事業
東金市	子ども医療費扶助事業
旭市	乳幼児紙おむつ給付事業
習志野市	保育所運営費
柏市	防災施設及び防災資機材の管理事業
勝浦市	芸術文化交流センター管理運営
市原市	放課後児童健全育成事業
流山市	リサイクル推進事業
八千代市	リサイクル推進事業
我孫子市	子ども医療費助成事業
鴨川市	郷土資料館運営事業
鎌ヶ谷市	図書館蔵書・資料整備事業
君津市	中央図書館資料購入事業
富津市	図書購入事業
浦安市	文化会館指定管理料
四街道市	資料管理整備事業
袖ヶ浦市	子ども医療費助成事業
八街市	在宅老人介護対策費

団体名	事業名
印西市	子ども医療費助成事業
白井市	子ども医療費助成事業
富里市	資料整備事業
南房総市	災害時応急物資購入等事業
匝瑳市	子ども医療費助成事業
香取市	高齢者等の生活支援事業
山武市	成東図書館運営事業
いすみ市	子ども医療費助成事業
大網白里市	外国語教育推進事業
酒ヶ井町	プリミエール酒々井(文化施設)運営事業
栄町	防災行政無線事業
神崎町	給食費助成金事業
多古町	図書館運営事業
東庄町	給食費助成金事業
九十九里町	子ども医療費助成事業
芝山町	ごみ袋無料配布事業
横芝光町	図書資料購入事業
一宮町	子ども医療費助成事業
睦沢町	道路維持事業
長生村	国際化教育の推進事業
白子町	保育所児童福祉施設事業
長柄町	定住対策事業
長南町	ALT派遣事業
大多喜町	公民館管理運営事業
御宿町	防災関係事務事業
鋸南町	菱川師宣記念館主催事業



事業の紹介

「振興ちば」をご愛読いただきありがとうございます。今回は本誌の発行元である私ども千葉縣市町村振興協会の行っている事業のうち、宝くじ交付金の市町村への交付事業について紹介します。

市町村振興宝くじ交付金の市町村への交付事業

千葉県から交付されたサマージャンポ宝くじの収益金の一部を、「サマージャンポ宝くじ市町村交付金」として県内市町村に対して交付しています。

この交付金は公共事業をはじめ高齢化・少子化対応、芸術・文化の振興、災害対策、地域経済の活性化、環境保全など総務省令(地方財政法第32条に規定する事業を定める省令)で定める事業に活用されています。

令和4年度は総額5億円を県内市町村に交付し、次のような事業に活用されました。



【鴨川市】郷土資料館運営事業

鴨川市では、郷土資料館運営事業に活用されています。「鴨川市郷土資料館」は、郷土の特色を示す歴史、芸術、民族、産業等に関する資料の保存活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の知識と理解を深めるために設置されている施設で、本事業は、作品の展示、企画展等の開催や、その他市民の芸術、文化の発展に寄与しています。



【多古町】図書館運営事業

多古町では、図書館運営事業に活用されています。高度化・多様化する住民のニーズに応えることができる情報の拠点としての図書館を運営することで、地域文化の振興や住民サービスの向上を図ることを目的としています。

編集後記

今年も例年にも増して暑い夏となり、テレビや新聞等では「危険な暑さ」や「災害級の暑さ」といった言葉が頻りに使われていました。あまりの暑さに、せっかくの休日でも外に出る気にならず、家で過ごすだけで1日が終わることが多かったです。来年はこの暑さが少しでも和らぎ、夏を満喫できていることを願うばかりです。さて、本誌は今号から千葉県内の市町村紹介ページをリニューアルし、「まちのイチオシ」として、市町村の一押し情報を掲載することとしました。特に力を入れている事業や、おすすめの観光スポットなど、市町村一押しの情報が目白押しの内容となっております。

また、特集では、株式会社ちばぎん総合研究所の弓野氏に「数値でみる千葉県市町村の地方創生」をテーマに、千葉県内の市町村の地方創生について、調査・分析等に基づき詳しく解説していただいております。

その他のページについても、千葉県からの情報など、充実した内容が盛りだくさんとなっておりますので、是非ご一読ください。

今回、ご寄稿等にご協力いただいた皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。



なお、県内各市町村における交付金の主な活用事業の一覧は、左ページに掲載のとおりです。

ハロウィンジャンボ宝くじ 発売中! 【2023年新市町村振興宝くじ】

Halloween Invitation

ハロウィンジャンボ

1等前後賞合わせて5億円
1等3億円、前後賞各1億円

5億円

当せんのチャンス広がる!

ハロウィンジャンボミニ

1等前後賞合わせて5,000万円
1等3,000万円、前後賞各1,000万円

5,000万円

パソコンやスマホでネット購入!

宝くじ公式サイト ▶ <https://www.takarakuji-official.jp/>

9月20日(水)同時発売

発売期間/9月20日(水)~10月20日(金) 抽せん日/10月27日(金)

2023年新市町村振興宝くじ 公益財団法人 千葉県市町村振興協会 各1枚300円

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

この宝くじの収益金は、市町村に配分されます。

ご購入は、是非**“千葉県内”**の宝くじ売り場で!!

宝くじ公式サイト

宝くじがネットで購入できる!

宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます 宝くじ公式サイト | Q

お問い合わせ先 | 宝くじコールセンター ☎ 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料) ☎ 011-330-0777 (有料)

- 発売期間/9月20日(水)から10月20日(金)まで
- 抽せん日/10月27日(金) ■ 発売単価/1枚300円

等級	ハロウィンジャンボ		ハロウィンジャンボミニ	
	当せん金	本数	当せん金	本数
1等	3億円	12本	3,000万円	50本
1等の前後賞	1億円	24本	1,000万円	100本
1等の組違い賞	10万円	1,188本	—	—
2等	1,000万円	120本	100万円	1,500本
3等	100万円	2,400本	1万円	5,000本
4等	3,000円	1,200,000本	3,000円	500,000本
5等	300円	12,000,000本	300円	5,000,000本

※表中の当せん本数は、発売計画額(ハロウィンジャンボ発売総額360億円・12ユニット、ハロウィンジャンボミニ発売総額150億円・5ユニット)のとおりとなった場合



サーフィンクーちゃん